

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 実施 対象	多額 の経 費対 象	①事務事業の概要 ②課題	27年度 決算額 [千円]	28年度 決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成29年度に取組む改革・改善内容	29年度 予算額 [千円]
1	一般	8	4	1	322利便性の高い公共交通体系の充実	コミュニティバス運行助成事業	都市計画課	○	○	①バス会社3社による市内4ルート月曜日から金曜日の運行を、平成28年11月1日からバス会社3社による市内5ルートに変更、週7日に増便運行し、運行経費と利用客数に応じ限度額を定め補助を支出。 ②西線、西線2のワンボックスタイプをバスタイプに変更の要望がある。	20,182	32,429	6精査・検証	①高齢化社会の対応として、地域活動や生涯学習などの参加からコミュニティバスの運行は必要不可欠である。 ②市内5ルート週7日運行の利用状況や要望等を把握し、今後の改革・改善が可能か検討。	48,140
2	一般	8	4	1	322利便性の高い公共交通体系の充実	北総鉄道耐震化助成事業	都市計画課	○	○	①首都直下地震等の大規模地震に備えるとともに、北総鉄道を利用する市民及び鉄道施設付近に居住する市民等の安全を確保するため、国、県、沿線6市と協調し事業費を助成するもの。 ②平成27年度から29年度の3年で完成させる。	17,282	23,224	6精査・検証	①首都圏直下型地震は、30年以内に70%程度の確率で起こると想定されており、対策を進めておく必要がある。 ②高架橋柱補強596本、橋脚補強1基、落橋防止14連	27,723
3	一般	8	4	3	322利便性の高い公共交通体系の充実	新京成線連続立体交差事業	道路河川整備課	○	○	①本市の東西を走る新京成線を高架化し、踏切遮断による交通渋滞や市街地の分断等を解消する目的で、県が事業主体となり事業を施行する。 ②踏切による交通渋滞が多く、市街地が分断されている。	382,256	1,006,056	7拡充	①市民から早期完成が求められているため。 ②計画下り線(津田沼方面 延長3,257m)について高架化を実施するとともに、都市交通の事業の進捗を図るため引き続き事業主体である千葉県及び関係機関と調整し必要な財源の確保を図る。	626,489